

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：民俗学ゼミ ILAS Seminar :Folklore Studies			担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 助教 菊地 暁		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	7(6)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	人文科学研究所本館 / 正面玄関 集合(第1回)(本部構内)		使用言語	日本語	
キーワード	文化人類学および民俗学関連 / 民俗(民間伝承) / 衣食住 / 経済生活 / 社会組織						
【授業の概要・目的】							
民俗学とは、人間の「せつなさ」と「しょうもなさ」に寄り添う学問ではないかと思う。普通の人々が日々の暮らしのなかから創り上げ、受け伝えてきたコトバ、モノ、ワザといったものの総体、そしてその結果として存在する「私たち自身」を「民俗資料」と名づけ、そこから、文字資料には決して書き残されることのなかった普通の人々の歴史を探ることを試みる学問である。本ゼミは、民俗学の目的と方法を、その創始者・柳田国男(1875 - 1962)の学問的生涯に即して説明した上で、衣食住、経済生活、社会組織などの個別分野についてとりあげる予定である。							
【到達目標】							
民俗学の基本的な考え方と初歩的な実践方法を理解する。							
【授業計画と内容】							
以下のトピックにつき、現地見学、ディスカッション、資料調査等を行う。							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 使用上の注意 2. 柳田国男の生涯 3. 民俗学の方法 4. たべる 食 5. すむ 住 6. きる 衣 7. 生活史作成の注意 1 8. はたらく - 生産・生業 - 9. はこぶ - 交通・運輸 - 10. とりかえる - 交換・交易 - 11. 生活史作成の注意 2 12. つどう1 - 血縁 - 13. つどう2 - 地縁 - 14. つどう3 - 社縁 - 15. まとめ(フィードバック) 							
* 例年は、吉田山、祇園、西陣、八瀬、山科などの現地見学を実施している。							
ILASセミナー：民俗学ゼミ(2)へ続く							

ILASセミナー：民俗学ゼミ(2)

【履修要件】

講義「民俗学」（水4）を併せて履修すること。講義内容を前提にゼミを行う。諸般の事情により履修のできない場合は、補足のための課題を課す。

【成績評価の方法・観点】

ゼミへの参加の積極性およびゼミ活動に関する期末レポートにより評価する。詳細は授業中に説明する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

菊地暁 『柳田国男と民俗学の近代』（吉川弘文館）ISBN:9784642075442

菊地暁 [編] 『身体論のすすめ』（丸善）ISBN:4621075985

高取正男 『日本的思考の原型』（講談社）ISBN:4061158066

菊地暁 『民俗学入門』（岩波書店）ISBN:978-4-00-431910-8

菊地暁 [編] 『書いてみた生活史：学生とつくる民俗学』（実生社）ISBN:978-4-910686-13-4

その他、授業中に適宜紹介する。

【授業外学修（予習・復習）等】

知的好奇心の旺盛な受講生を歓迎する。

予習・復習等については授業中に随時指示する。

【その他（オフィスアワー等）】

学生教育研究災害傷害保険へ加入すること（新生は原則的に必須となっています）。交通費（通常は市バス往復運賃程度）原則学生負担となります。

初回は人文科学研究所本館の玄関（東側）にお集まりください。

【主要授業科目（学部・学科名）】